

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【公開番号】特開2003-18792(P2003-18792A)

【公開日】平成15年1月17日(2003.1.17)

【出願番号】特願2002-115035(P2002-115035)

【国際特許分類第7版】

H 02 K 7/08

F 16 C 17/08

F 16 C 17/10

H 02 K 5/167

H 02 K 21/22

【F I】

H 02 K 7/08 A

F 16 C 17/08

F 16 C 17/10 A

H 02 K 5/167 B

H 02 K 21/22 M

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月18日(2005.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

軸部本体の一端部に環状体を嵌合した軸部を持ち、前記環状体と対向するカウンタプレートの部分には複数条の溝が形成され、スラスト・ラジアル両荷重を支持する流体動圧軸受を介して回転体を固定部に支持するモータであって、前記流体動圧軸受の軸端部で相対する略平坦状の面部のうち一方の面部に、該一方の面部と別体の1個または複数個の凸部を、かつ、前記回転体の回転静止時に他方の面部に当接可能に設けたことを特徴とするモータ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

請求項1記載のモータにおいて、前記一方の面部は前記回転体に備えられる前記軸部の端面部で、かつ前記他方の面部は前記軸部の端面部に臨む固定部における固定部軸部側対向面部であるか、又は前記一方の面部は前記固定部軸部側対向面部で、かつ前記他方の面部は前記軸部の端面部であることを特徴とするモータ。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

**【課題を解決するための手段】**

請求項 1 記載の発明は、軸部本体の一端部に環状体を嵌合した軸部を持ち、前記環状体と対向するカウンタプレートの部分には複数条の溝が形成され、スラスト・ラジアル両荷重を支持する流体動圧軸受を介して回転体を固定部に支持するモータであって、前記流体動圧軸受の軸端部で相対向する略平坦状の面部のうち一方の面部に、該一方の面部と別体の1個または複数個の凸部を、かつ、前記回転体の回転静止時に他方の面部に当接可能に設けたことを特徴とする。

請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載のモータにおいて、前記一方の面部は前記回転体に備えられる前記軸部の端面部で、かつ前記他方の面部は前記軸部の端面部に臨む固定部における固定部軸部側対向面部であるか、又は前記一方の面部は前記固定部軸部側対向面部で、かつ前記他方の面部は前記軸部の端面部であることを特徴とする。